

風のてのひら

～南高だより No. 1～

平成28年4月22日発行

発行責任者：長崎県立五島南高等学校

校長 森 彰

～平成28年度が始まりました～

今年度は9名の新しい教職員と、36名の新生を迎え、新しい南高がスタートしました。職員・生徒が一丸となり、活気に満ちた学校づくりに邁進します。今後とも本校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

以下、平成28年度の新転任教職員と学校組織を紹介いたします。

新転任者	前任校	担当科目・教科等
岡野 祥士	長崎鶴洋高校	教 頭
入江 恭代	長崎東高校	国 語
釜崎 大輔	大村高校	地歴公民
松山 真美	大崎高校	数 学
岩本 勇太	佐世保工業高校	数 学
森 誠治	島原高校	国 語
金崎 真吾	長崎東高校	英 語
楠本 信秀	五島・五島海陽高校	数 学
勝 伊吹	新卒	音 楽



◎主任 ○副主任	学年団				学年所属
	1組		2組		
	担任	副担任	担任	副担任	
1年	○金崎	松山	◎入江	布田	黒田・近藤・山野
2年	○渡邊	勝	◎釜崎	楠本	笹井・小林
3年	○森	神崎	◎岩本	兒玉	小柳・鍛治

分掌主任	
教務	近藤
生徒指導	黒田
教育相談	渡邊
進路指導	笹井
生徒会	小柳

・特別支援コーディネーター：渡邊

・保健主事：小柳

「社会で生きる力」の育成を目指して

平成28年度が始まりました。本年度は、創立50年（分校時代から数えると開校67年）の記念の年です。これを機に、本校の歴史を振り返るとともに、これから先の少子高齢化・人口減少の時代に、本校がこの地で果たしていくべき役割について、改めて思いを巡らす年になると思っています。本校が、地域に根ざし、地域社会を支える人材育成の場となるよう、保護者・地域・同窓会の皆様方のお力添えをお願いいたします。

年度当初に、2・3年生には始業式の訓辞で、校訓にもあり本校のキャッチフレーズである「努力すること」について述べました。また、入学式の式辞では、加えて「人とのかわりあい」と「規律を守ること」についても触れました。いずれも、社会で自立して生活するために必須の概念であり、本校に限らず高校教育の基本となることです。

ところが、新年度早々、生徒の校内喫煙が発覚しました。私が赴任して2年間、無かったことなので大変残念に思っています。と同時に、私たち大人は、子どもが非行を犯さないよう、しっかりと目を配らなければならないし、「だめなことはだめ」という毅然とした態度を常に見せ続けられ

ならないと反省しました。学校だけでは十分目が行き届かないこともありますので、家庭・地域の皆様のご協力をお願いいたします。以下に、入学式式辞の一部を掲載します。ご一読ください。

1 校訓、特に「努力」について

本校の校訓は、「誠実・努力・積極」です。その中でも、努力という徳目を一番大切にしています。あらゆる場面でいつでも登場するこの言葉は、高校生活においても最も忘れてはならないことです。自分が好きではないことや辛いと思うことであっても、避けたり逃げたりすることなく、果敢に立ち向かい、克服しようとする過程が努力です。

高等学校は、九年間の義務教育を終えたあと、学識の面でも人間性の面でも、さらに自分を高め、成長させることを目的として通うところです。嫌いなこと、辛いことから逃げていては人としての成長は望めません。学習、行事、部活動、進路目標、どんなことであれ、目標に向かって全力で誠実に努力することで、知らず知らずのうちに必ず自分自身を成長させることができます。皆さんの成長を期して学校が提供する学習課題やその他のさまざまな活動には、やらされるからやるのではなく、自らの意志で、積極的に努力を傾けてください。

2 SNS では人とかかわる力は身に付かない

近年、スマホが急速に普及したことにより、人と人がつながる仕組みは一昔前と比べると格段に進歩しています。スマホなどネットにつながる携帯端末を通して、見知らぬ人とコミュニケーションがとれたり、共通の趣味でつながったりすることもできます。ところが一方で、「人とかわりたくない」「友達付き合いが苦手」という人が増えてきているのも事実です。これは一見して矛盾しているようにも思えますが、人と人とのかわりは、相手の表情や相手が発する言葉の調子から、どのような思いを込めて話をしているのかを、五感で感じることによってつくられていくものです。つまり、直接自分の言葉と相手の言葉を通い合わせることができる、身近な人たちと関係をつくっていくことで、人とかかわる力が備わっていきます。それを煩わしいと感じ、SNS を介した薄っぺらな関係を求め過ぎると、身近な人との関係性が薄れていくことは当然のことと言えます。このようなネット依存は、自制心を失いがちな若い人ほど陥りやすい、ネット社会の弊害です。

皆さんは、今日から始まる高校生活で、自分の考えを上手に表現すること、相手の考えや気持ちを理解することなどのコミュニケーション能力、さらに挨拶や場に応じた適切な言葉遣いなど、マナーを身につけることが大切です。本校の教育活動全般、特に文化祭・体育祭などの学校行事、部活動、さらにボランティア活動などを通して人とかかわる力を高めてほしいと思っています。

3 規律を守ることは、社会生活（学校生活）の基本

集団生活を営む人間社会において、規律を守ることは、私たち一人ひとりの自由や幸せを維持するために、人類が作り出した知恵です。規律に裏付けられてこそ、真の自由があります。学校は社会の縮図と考えることもできるでしょう。社会には、したくてもしてはいけないことがあり、したくなくてもしなければならないことがたくさんあります。また、規律とは、人を不幸にしたり不愉快にしたりすることが無いように定められるものですから、規律を守ることは、人を思いやることとも言えます。本校での規律ある高校生活を通して、集団生活における役割の自覚と責任を体得するとともに、思いやりのある、温かく力強い人間として、成長して欲しいと願っています。

(校長 森 彰)

ご相談やお気づきがあれば
いつでもご連絡ください。
五島南高校 電話 0959-82-0132
FAX 0959-82-0185

五島南高校メールメイトに是非ご参加
ください。以下のアドレスに空メールを
送ってご登録ください。

gotominami-t@m-mate.com

